

神戸電鉄栗生線の継続的な活性化支援に  
関する要望書

平成22年11月

神戸電鉄栗生線活性化協議会

## **(神戸電鉄粟生線の現状)**

神戸電鉄粟生線は、沿線の小野市、三木市、神戸市をはじめ、周辺市における市民の通勤や通学に利用される等、市民生活に欠かせない鉄道路線であり、兵庫県下の広域的な公共交通ネットワークを形成する延長29.2kmの重要な基幹路線であります。

しかし、近年の少子高齢化やモータリゼーションの進展により、輸送人員はピーク時の平成4年度の1,420万人から、平成21年度は693万人にまで半減し、非常に厳しい経営状況となっております。

## **(粟生線活性化に向けた取り組み)**

このため、神戸電鉄株式会社からの要請を受け、粟生線の活性化及び利用促進を図るため、沿線3市が中心となって平成21年度に「神戸電鉄粟生線活性化協議会」を設立しました。平成22年4月には、22年度から24年度までの3カ年で実施する粟生線活性化の事業計画が、国の「地域公共交通活性化・再生総合事業計画」としての認定を受けております。

そして、平成22年度より国の支援のもと、沿線住民とも連携しながら、P&R駐車場等利用者の利便性を向上させる施設整備や、交流人口拡大に向けたイベントの開催など、様々な利用促進策に取り組み始めたところです。

## **(地元の願い)**

利用促進に向けた取り組みは緒についたばかりであり、その効果を発揮させるためには、3年間にわたり活性化事業に計画的かつ集中的に取り組んでいくことが必要です。

そして、この取り組みにより神戸電鉄粟生線が活性

化され、沿線地域はもとより、周辺地域も含めた住民の生活や交流を支える公共交通機関としての役割が維持・確保されることを心から期待しているところです。

つきましては、以下の事項に格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

- 1 平成 22 年度に「地域公共交通活性化・再生総合事業計画」の認定を受け、22 年度から 24 年度までの 3 カ年で実施予定の神戸電鉄粟生線活性化の取り組みについて、平成 23 年度から新たに創設される予定の「地域公共交通確保維持改善事業」においても、支援期間が短縮されることなく継続されるよう措置するとともに、必要な予算を確保すること。
- 2 厳しい経営状況にある地方鉄道の安定的な維持に向け、活性化や利用促進への支援など、地域の特性を鑑みた新制度を創設し、地方鉄道に対する国の支援の充実を図ること。

平成 22 年 11 月

神戸電鉄粟生線活性化協議会 会長 小林 清豪

兵庫  
神戸市  
三木市  
小野市  
神戸電鉄株式会社

